



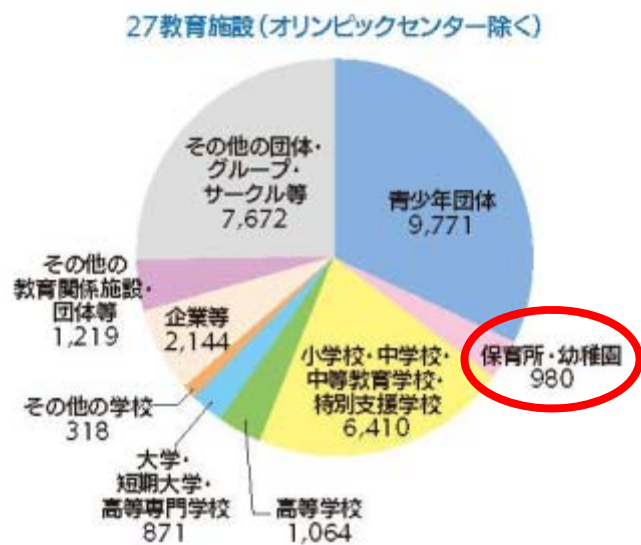
# 国立青少年教育振興機構 幼児対象事業の現状

～全国27施設の取り組みの紹介～

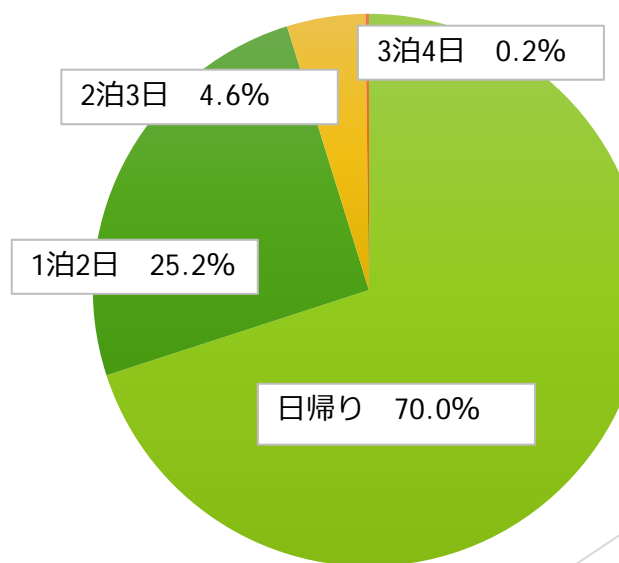
平成30年1月12日

# 平成28年度 幼稚園、保育園、認定こども園の 利用現状

平成28年度の保育所・幼稚園の利用団体数



利用期間別 団体数 (%)



# 各施設の主な取り組み



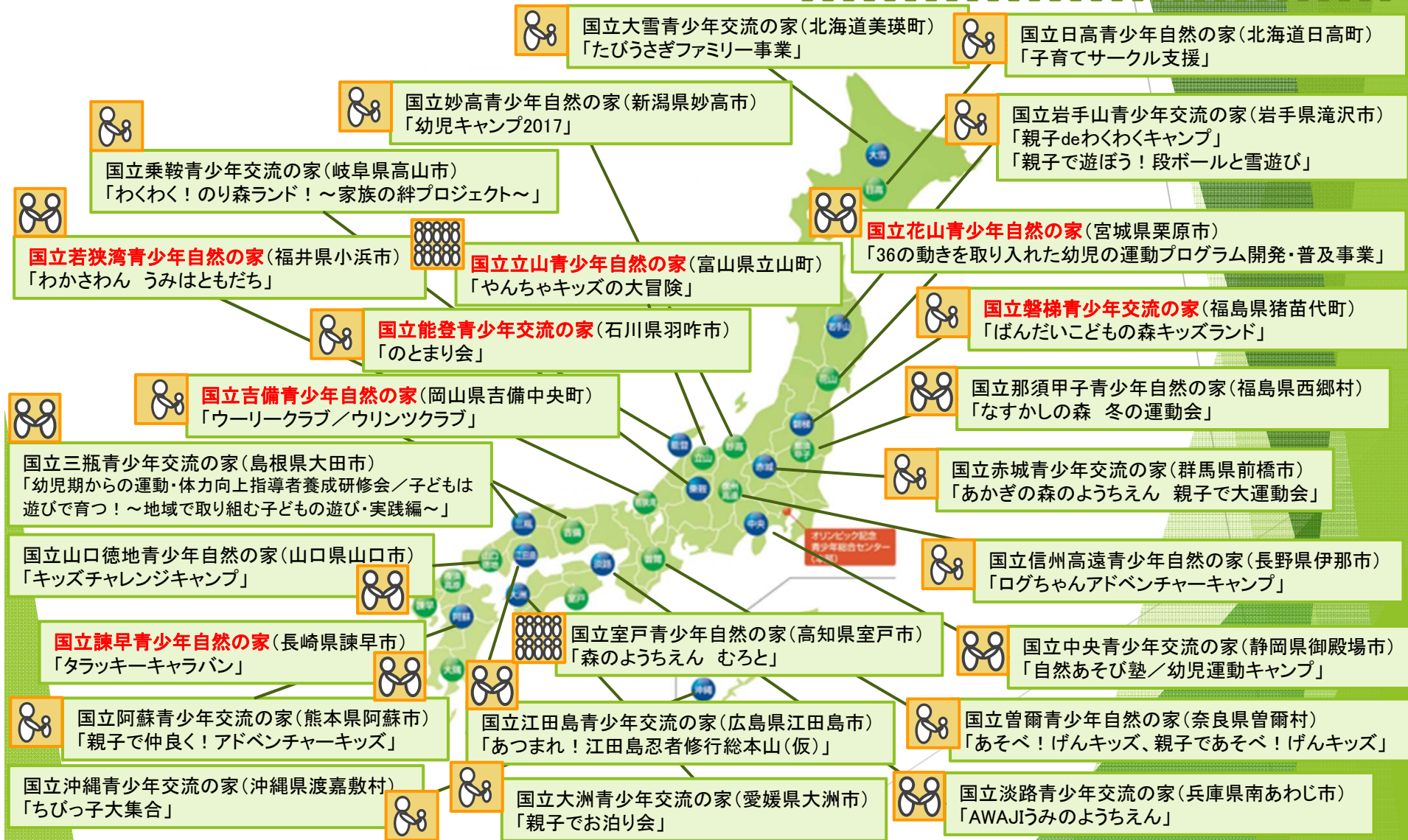
園等と連携した事業



園児のみを対象とした事業



園児と保護者を対象とした事業





## 1. 園等と連携した事業

- ① 国立花山青少年自然の家 (宮城県栗原市)
- ② 国立若狭湾青少年自然の家 (福井県小浜市)
- ③ 国立諫早青少年自然の家 (長崎県諫早市)



園等と連携した事業

# 国立花山青少年自然の家 (宮城県栗原市)

事業名 36の基本的な動きを取り入れた幼児の運動プログラム開発・普及事業

期 間 平成29年5月～平成30年3月 日帰り・宿泊 全13園

対 象 栗原市・大崎市・登米市の公立・私立、幼稚園、保育園、認定こども園園児等 608名 (予定)

- 目 的
- ①「花山で遊ぼう！」を活用し、自然に親しみ、36の基本的な動きが遊びながら身につくようなきっかけづくりの場とする。〈園・施設〉
  - ②自分の体を十分に動かし、多様な動きを工夫して集団で遊ぶ。〈園児〉



最初は、出来なかったけど、何回も何回も繰り返して遊んでいるうちにこんなに上手になりました。ロープ1本でこんなに楽しいです！



初めて木のぼりに挑戦！降りる時が一番緊張します。一人ずつ登るので、順番もちゃんと守っています。



「じゃんけんぽん」子供達が遊びを工夫し、「1本橋わたろう」が「じゃんけん陣地取り」遊びに！負けたら後ろに並びます。



「見て！見て！くりを拾ったよ」サーキットで遊んだあとは自由に秋探し。トンボを捕まえた友だちもいました。



園等と連携した事業

# 国立若狭湾青少年自然の家 (福井県小浜市)

事業名 わかさわん うみはともだち

期 間 平成29年8月25日 (金)、29日 (火)、30日 (水) 各日程 3～4 園

対 象 小浜市の公立・私立、幼稚園、保育園、認定こども園 全13園  
年長児 263名

目 的 自然体験を通して、幼児に自然とふれあう楽しさや面白さを知らせる。  
若狭湾の海で遊ぶことで、より海を身近なものと感じられるようにする。  
普段の保育に、海や自然とのふれあいをより取り入れるきっかけとなるようにする。



友だちと話ながら、  
波を楽しみます。  
体全体で波を感じ  
ながら、自然と笑  
顔になります。



友だちが波にチャ  
レンジする様子を  
応援しています。  
先生方もそんな子  
供たちの様子を見  
守ります。



どんな生き物が海  
の中にはいるの  
か、夢中で探しま  
す。



寄せては返す波  
を一休みしなが  
ら、ゆっくりと  
眺めます。いろ  
んな遊び方がこ  
こにはあります。



園等と連携した事業

# 国立諫早青少年自然の家（長崎県諫早市）

事業名 「タラッキーキャラバン」

概要 諫早自然の家のマスコットキャラクター「タラッキー」が各園に出向き、幼児期の遊びを中心とした運動プログラム（36の動きを取り入れた遊び）や自然の家で提供しているクラフト活動などを実施する。

目的 ①様々な遊具に挑戦することを通して、達成することの面白さを感じてもらいとともに、幼児の運動能力や社会性の向上を図る。  
②諫早自然の家の認知度を高め、幼稚園等の利用促進を図る。

期間 平成29年4月下旬 ～ 7月上旬 日帰り

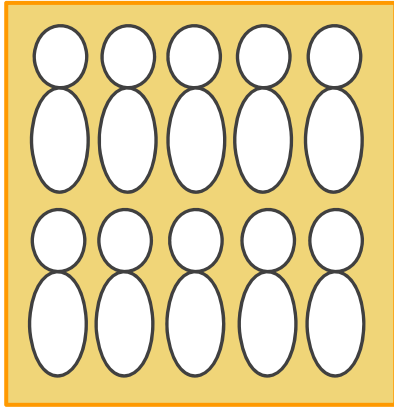
対象 幼稚園・保育園・認定こども園  
(実績：5団体 319人)



タラッキーと一緒にダンスを踊って、楽しく全身を動かすことができます。



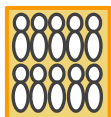
丸太の一本橋に挑戦！子供同士で協力して取り組む姿も見られます。



## 2. 園児のみを 対象とした事業

- ① 国立室戸青少年自然の家 (高知県室戸市)
- ② 国立立山青少年自然の家 (富山県立山市)





幼児のみを対象とした事業

# 国立室戸青少年自然の家 (高知県室戸市)

事業名 森のようちえん むろと

期 間 平成29年6月～9月

①6月10日～11日 1泊2日

②9月 9日～10日 1泊2日

対 象 幼稚園・保育園 年長児

目 的 山と海が密接につながっている室戸の自然環境をダイナミックに体験し、幼児が自然にふれ、親から離れて生活することを通して、たくましさ育てる



基地づくり



おやつづくり



幼児が様々な自然体験を行う。「できるだけ自分でやってみる」ことを大事に、指導者は安全確認に徹し、みまもることを大切にしている。

事後の保護者アンケートからは、「一人で泊まってみたり、包丁を使ったり、家庭ではできないことをやらせてもらったことが自信になっています」という回答があった。

その他の事業として（出前講座）

## 国立室戸青少年自然の家（高知県室戸市）

事業名 36の基本的な動きを取り入れた幼児の運動プログラム開発・普及事業

期 間 平成29年10月～平成30年3月

対 象 高知県内の公立・私立、幼稚園、保育園、  
認定こども園園児等 160名（予定）

目 的 ①「遊びを中心とした幼児期の運動プログラム～ジオレンジャーになろう～！」を活用し、自然に親しみ、36の基本的な動きが遊びながら身につくようなきっかけづくりの場とする。〈園・施設〉  
②自分の体を十分に動かし、多様な動きを工夫して集団で遊ぶ。〈園児〉



（左：クマ、右：アヒル）



まねっ子遊び

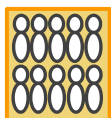
指導者の動きをマネして、動物になりきります。普段しないような姿勢、動きや、友達と協力して行う動きを楽しんで行います。



サーキット遊び



跳んだり、転がったり、バランスをとったりながら、何度もサーキットに挑戦します。習熟度に合わせて、レイアウトを変更します。



園児のみを対象とした事業

# 国立立山青少年自然の家 (富山県立山町)

事業名 やんちゃキッズの大冒険

期 間 平成29年8月24日～26日 2泊3日 秋：冬 1泊2日

対 象 幼児（年長児）

目 的 様々な生活体験や自然体験を通して、意欲的に物事に取り組む姿勢や人間関係を育むとともに、自然体験の大好きな子供に育てる。



探検ゲームを行う中で、子供たち同士で考えたり、話合ったりします。



3日間全て野外での料理。包丁も使い、火も起こして作ります。安全について学びます。



軽登山で、手をしっかりつけて、自分の身は自分で守ります。



3日間楽しかったことや、キャンプ後にがんばりたいことを発表します。



### 3. 園児と保護者を 対象とした事業

- ① 国立能登青少年交流の家 (石川県羽咋市)
- ② 国立磐梯青少年交流の家 (福島県猪苗代町)
- ③ 国立吉備青少年自然の家 (岡山県吉備中央町)



園児と保護者を対象とした事業

# 国立能登青少年交流の家 (石川県羽咋市)

事業名 幼小いっしょに！のとまり会

期 間 平成29年9月3日(日)、11日(土)~12(日)、1月13日(土)~14日(日)

対 象 小学校1・2年生・年長児各20名及びその保護者

目 的 年長児と小学1・2年生が、親元を離れ、共に野外体験をすることを通して、人とかかわる力、決まりを守って生活しようとする態度を養う事業。



ホットケーキの食材を探すゲームです。地図を見ながら、みんなで相談中。



初めてのテント泊。準備も片付けも、みんなで協力して行います。



朝のミッション。てをつなぎながら、子供達だけで朝食会場の食堂に向かいます。



最終日には、学生のお兄さんお姉さんは後ろで見守るだけ。子供達だけでドンドン進めていきます。



園児と保護者を対象とした事業

# 国立磐梯青少年交流の家 (福島県猪苗代町)

事業名 ばんだいこどもの森キッズランド①～⑤

期 間 平成29年4月～12月 1泊2日で5回実施

対 象 幼児とその保護者

目 的 ①幼児期における多様な体験活動の提供を通して豊かな感性を育む  
②保護者における子供理解の拡充を図る



親子で安心して遊びます。保護者は子供のやりたいことを尊重してくれます。



自分たちで考え、遊びが发展します。子供たちの想像力がどんどん広がります。



サツマイモの苗を植えました。植物成長を通して生命の力を感じます。



森の中では不思議なものに出会います。発見する喜びがたくさんあります。



園児と保護者を対象とした事業

# 国立吉備青少年自然の家 (岡山県吉備中央町)

事業名 ①ウーリークラブ (H25～) /②ウリソツクラブ (H26～)

期 間 平成29年6月～平成30年2月

①年4回 (日帰り2回、1泊2日2回)

②年4回 (1泊2日4回) ※第4回は一部合同開催

対 象 ①幼児とその保護者 /②ウーリークラブを卒業した家族

目 的 ①吉備の里山で子供と自然体験をし、子育てを考える。

②参加家族が継続して、主体的に企画・運営する意識を高める。



ウーリークラブ

親子で様々な自然体験を行う。親子別々のプログラムでは、保護者同士で学び合うことを通して繋がりも生まれ、子育てへの自信を持つことができる。



ウリソツクラブ

「子供たちに何を体験させたいのか」に重点を置いて、企画を保護者が考えて自主的に運営。過去の企画には「自然の中で本気遊び」「危険予知と達成感」「みんなの笑顔」があり、今年度第3回のコンセプトは「協力・団結」。